

レプトスピラ症 にご注意!

「福島県で11月に1例患者報告がありました」



レプトスピラ症とは

- ・ネズミや家畜などの尿で汚染された水や土壌に存在する病原性レプトスピラという菌が口や傷ついた皮膚から体に侵入し、感染します。

症状

- ・3～14日間の潜伏期を経て、高熱、悪寒、頭痛、筋肉痛、結膜充血などが生じ、重症化すると、黄疸や腎不全、皮下出血などをきたします。

発生状況

- ・近年の全国の年間報告数は約30例です。農作業やレクリエーションとしての野外活動（河川など）による散発、集団感染が報告されています。

予防のポイント

- ・野生動物のし尿などで病原体に汚染された水に触れることで感染し、洪水に関連して発生することがあります。衛生状態の悪化によりネズミ等が増加することも考えられ、感染機会の増加が懸念されます。残飯等は適切に処分するなど、環境を清潔に保つことが必要です。
- ・野外作業をする際は、肌を露出しない服装で、手袋や長靴を着用しましょう。

